

人材ビジネス市場に関する調査結果 2009

— 拡大を続けてきた人材ビジネスは 2008 年度以降踊り場に —

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にて人材ビジネス市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2009年7月～9月
2. 調査対象：オフィスワークを中心とした人材派遣事業者、人材紹介事業者、再就職支援事業者、技術者派遣事業者、営業・販売支援人材ビジネス事業者、ネット転職サービス事業者等
3. 調査方法：当社専門研究員による直接面談、郵送によるヒアリング、ならびに文献調査併用

<人材ビジネス市場とは>

本調査における人材ビジネス市場とは、一般労働者派遣業（人材派遣業）、人材紹介業、再就職支援業、技術者派遣業、営業・販売支援人材ビジネス、ネット転職サービスの6分野を対象とするが、ここでは調査対象のうち、一般労働者派遣業（人材派遣業）、人材紹介業、再就職支援業の主要3分野を取り上げ、分析する。

【調査結果サマリー】

◆ 2008年度の人材派遣市場規模は4兆6,700億円、前年度比7.0%減、

2009年度も減少傾向続く

2008年後半の金融危機以降、企業は人件費削減を急ぐようになり、更新案件の停止や新規求人案件の激減など、雇止めが顕著であった。成長を続けてきた人材派遣市場は2009年度も減少傾向が見込まれ、前年度比16.9%減の3兆8,800億円と予測する。

◆ 2008年度の人材紹介市場規模は1,390億円、前年度比10.3%減、2009年度は更なる縮小へ

景気悪化により2009年4月に大量入社した新卒社員の人件費負担が重くのしかかるようになり、各企業において中途採用の需要が減退した。企業はより厳選した人材を求める傾向にあり、採用の難易度が高まることで市場は大幅に縮小した。雇用回復には時間を要することから、2009年度は前年度比42.5%減の800億円と更なる大幅縮小を予測する。

◆ 2008年度の再就職支援市場規模は165億円、前年度比3.1%増、2009年度も堅調に推移

景気悪化の影響で、企業の雇用調整に伴う再就職支援に対する需要の高まりが追い風となり、2009年度も堅調な市場拡大が見込まれ、前年度比15.2%増の190億円と予測する。

◆ 資料体裁

資料名：「人材ビジネスの現状と展望 2009年版」
 発刊日：2009年10月9日
 体裁：A4判 536頁
 定価：115,500円（本体価格110,000円 消費税等5,500円）

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝
 設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

㈱矢野経済研究所 営業本部 広報・PRグループ TEL：03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
 本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PRグループ迄お問合せ下さい。

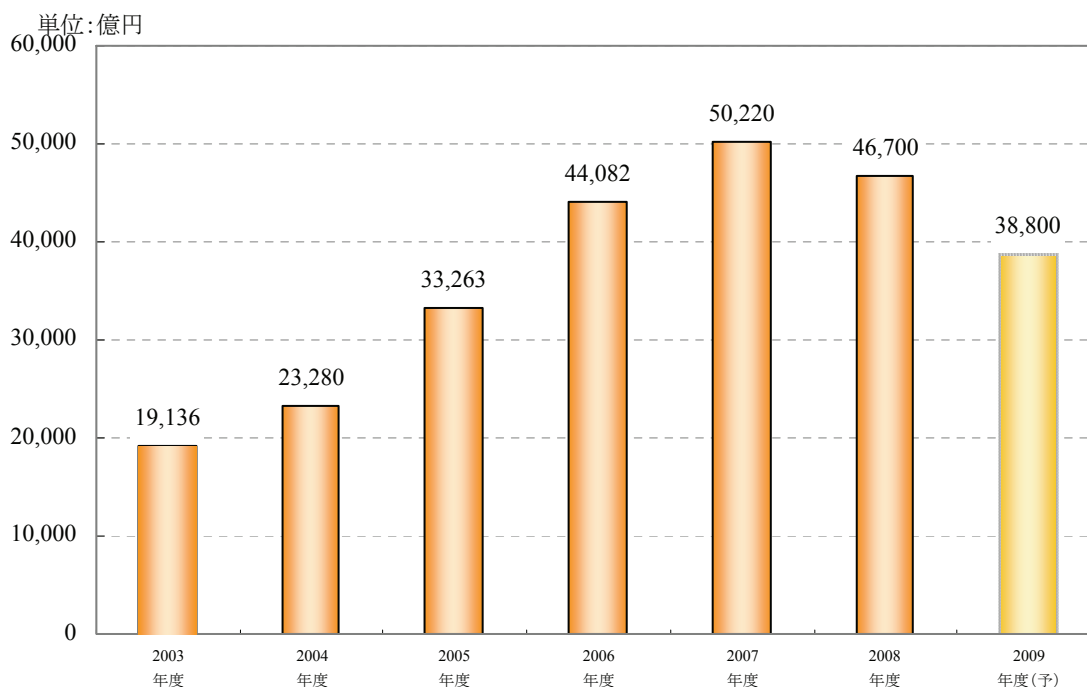
【 調査結果の概要 】

1. 人材派遣業の動向と予測

2008年度の人材派遣業市場規模は、前年度比7.0%減の4兆6,700億円であった。2007年頃からの景気低迷の影響を受け始めていたが、2008年9月のリーマンショック以降、これまで継続して契約更新していたような案件においても契約終了時の雇止めが相次いだ。加えて、新規の求人案件も激減し、2008年度下半期以降厳しい状況が続いている。このようななか、労働者派遣法の規制強化も検討されようとしており、人材派遣業界にとっては市場環境への悪影響が続く状況にある。

2009年度は新規の求人案件が大幅に落ち込んだことで稼働者数が減少し、前年度比16.9%減の3兆8,800億円と市場はさらに状況が悪化、大幅な縮小になると予測する。

図1. 人材派遣市場規模推移



注1: 2007年度までは厚生労働省の各年度「一般労働者派遣事業」の売上高より引用、2008年度以降は矢野経済研究所推計値

注2: 事業者売上高ベース

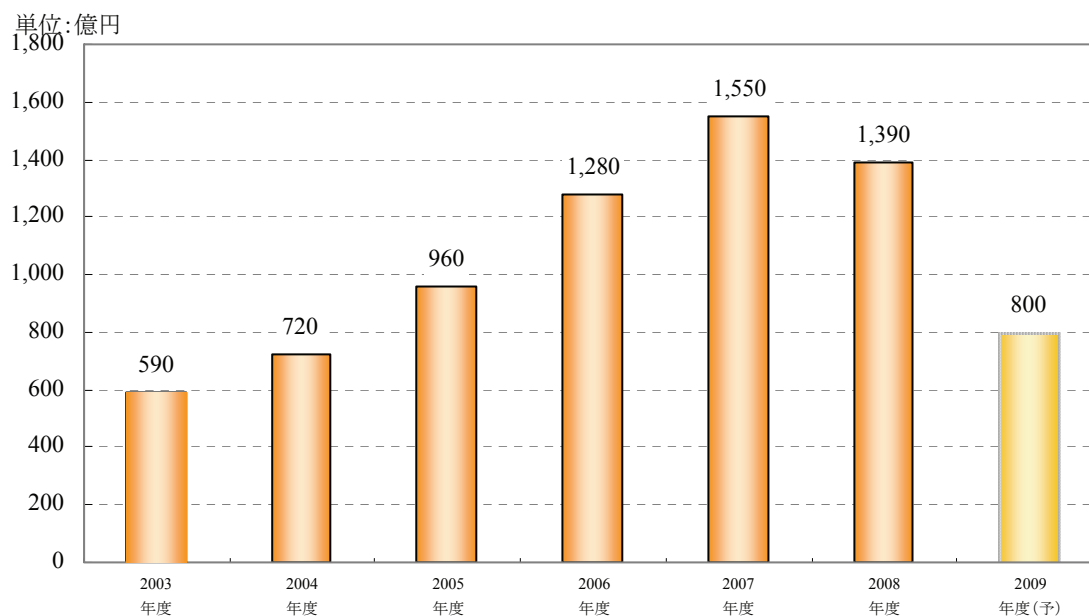
注3: (予)は予測値

2. 人材紹介業の動向と予測

2008年度の人材紹介業市場規模は、前年度比10.3%減の1,390億円であった。2007年以降の景気後退によって各企業は雇用調整に入り始め、2008年度まで大量に新卒を採用した企業は、新卒採用のみならず、中途採用を一気に取りやめた。こうした求人数の減少に加え、企業側はより厳選した人材を求めるようになってきているため、面接試験回数の増加等による採用の遅延や、マッチングの難易度が高まる傾向にある。さらに、企業からの仲介手数料の引き下げ圧力があることも、市場にとってマイナスの影響を及ぼしている。

今後の雇用回復には時間を要することが推測されるため、2009年度は前年度比42.5%減の800億円と更なる大幅縮小を予測する。

図2. 人材紹介市場規模推移



矢野経済研究所推計

注4: 事業者売上高ベース

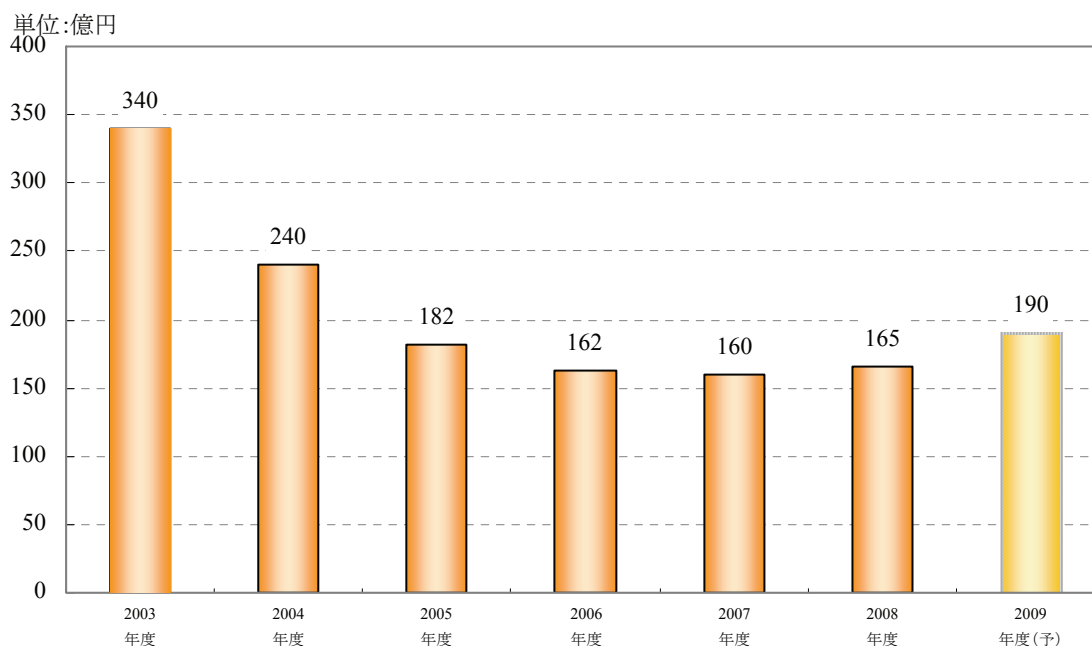
注5: (予)は予測値

3. 再就職支援業の動向と予測

2008年度の再就職支援業市場規模は、前年度比3.1%増の165億円であった。当該市場は2002年度をピークに減少傾向が続いていたが、2008年9月のリーマンショック以降、外資系企業を中心に雇用調整を行う企業が大幅に増加したことで、正社員のリストラに伴う再就職支援に対する需要が一層高まり、市場は2008年度に拡大に転じている。

2009年度の市場規模は前年度比15.2%増の190億円と予測するが、2009年に入ってからには日系企業でも雇用調整が進みつつあることから、200億円規模、もしくはそれ以上にまで市場が拡大することも考えられる。

図3. 再就職支援市場規模推移



矢野経済研究所推計

注6: 事業者売上高ベース

注7: (予)は予測値